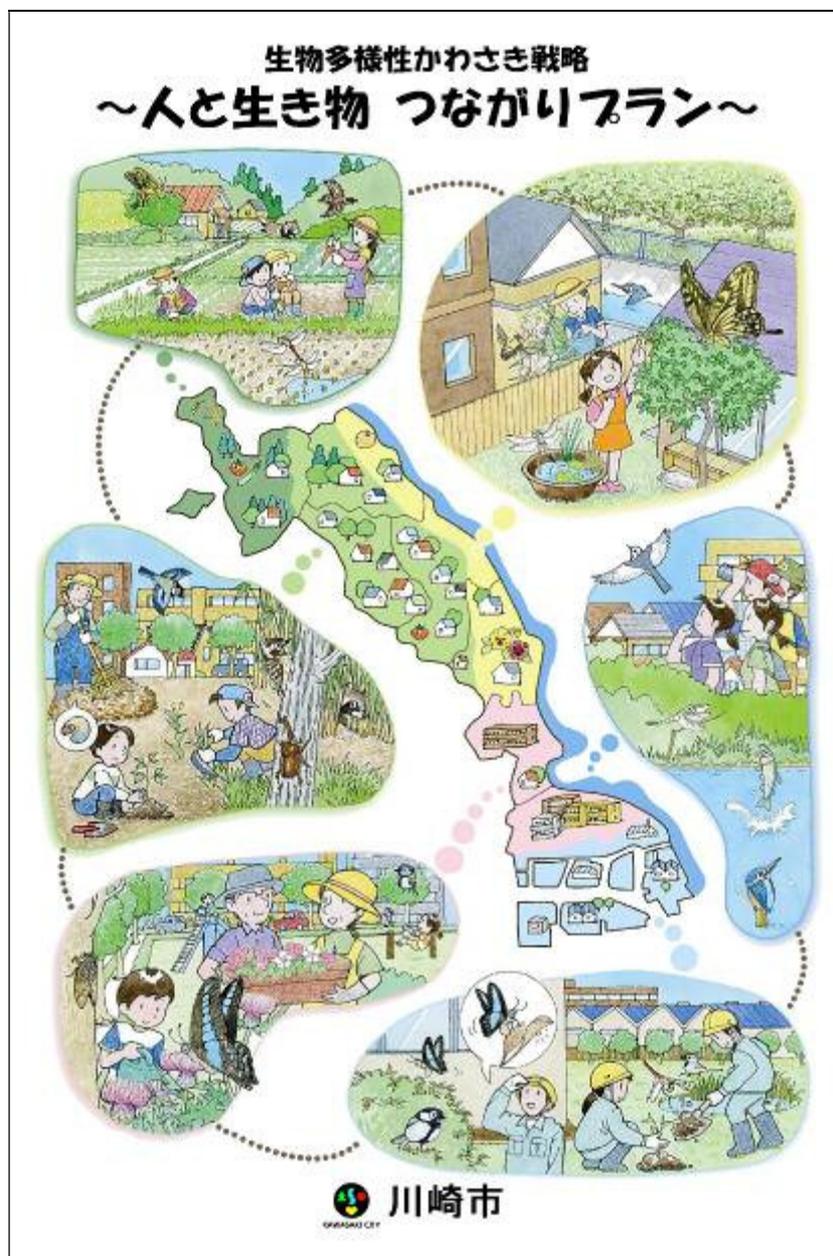


生物多様性かわさき戦略 ～人と生き物 つながりプラン～ 2015 年度版年次報告書



2014（平成 26）年度における川崎市の生物多様性に関する施策の推進状況について、2016（平成 28）年 1 月に取りまとめられた「2015 年度版環境基本計画年次報告書—2014 年度における川崎市の環境の現状と施策の展開—」を基に、確認しています。

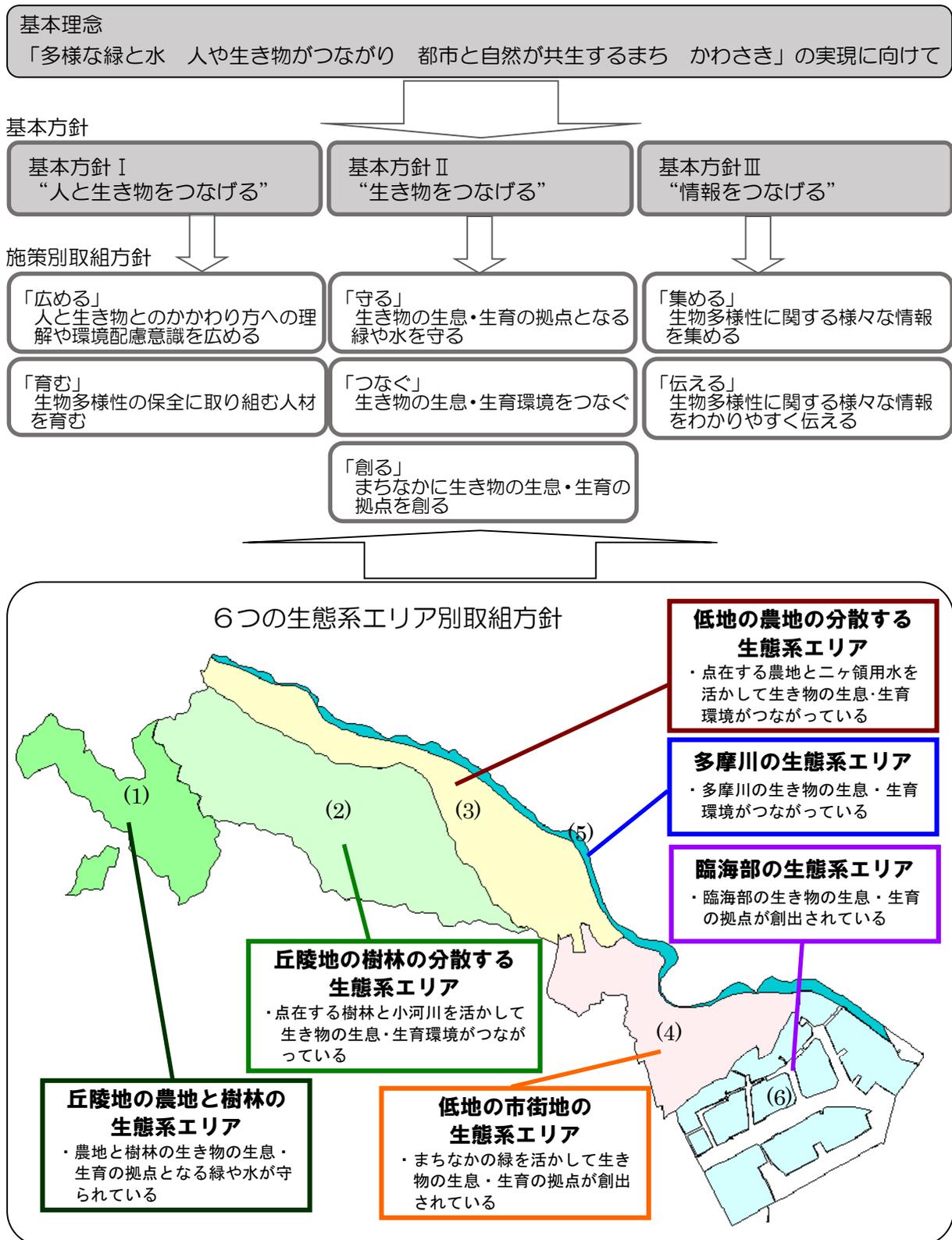
この確認の内容から、基本方針「人と生き物をつなげる」、「生き物をつなげる」、「情報をつなげる」の3つのつながりによる総合的な生物多様性の保全の推進の状況を把握することで、基本理念である「多様な緑と水 人や生き物がつながり 都市と自然が共生するまち かわさき」の実現に向けた評価を行います。

目次

生物多様性かわさき戦略の進行管理	1
基本方針Ⅰ “人と生き物をつなげる”	3
(1) 施策別取組方針「広める」	3
(2) 施策別取組方針「育む」	5
基本方針Ⅱ “生き物をつなげる”	6
(3) 施策別取組方針「守る」	6
(4) 施策別取組方針「つなぐ」	8
(5) 施策別取組方針「創る」	9
基本方針Ⅲ “情報をつなげる”	11
(6) 施策別取組方針「集める」	11
(7) 施策別取組方針「伝える」	13
丘陵地の農地と樹林の生態系エリア	14
丘陵地の樹林の分散する生態系エリア	15
低地の農地の分散する生態系エリア	16
低地の市街地の生態系エリア	17
多摩川の生態系エリア	18
臨海部の生態系エリア	19
生物多様性かわさき戦略の施策評価	20

生物多様性かわさき戦略の進行管理

2014（平成26）年3月に策定した「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」では、生物多様性の保全に向けた総合的かつ計画的な施策の推進に向けて、個々に実施されている施策を生物多様性の観点で横断的に3つの基本方針に体系整理し、環境基本計画や関連する各計画の年次報告書等を活用した効率的な進行管理を行うことで、戦略で示す2020（平成32年）における将来ビジョンを目指すこととしています。



戦略で定める2020（平成32）年における将来の姿

基本方針	戦略で目指す将来の姿
人と生き物をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者等の活動の場が、生物多様性を広める場、人材を育む場となっている。 ・環境に配慮したライフスタイルが浸透し、日常的に実践されている。 ・人間活動が生き物の生息・生育環境に与える影響等、生物多様性に関する理解が多くの市民、事業者等の間で普及している。 ・小学校等で自然への理解を深める環境学習等が推進されている。 ・身近な自然とかかわる機会や生き物とふれあう機会が増加している。 ・生物多様性の保全活動に積極的に取り組む人材育成が推進されている。
生き物をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・農地や緑地等が、生き物の生息・生育環境となっていることが認識され、生物多様性の保全への配慮意識が浸透して環境保全の取組が進められ、生き物の生息・生育環境の質が向上している。 ・市域全体で生き物の生息・生育環境に配慮した有機的な緑と水のネットワーク（エコロジカルネットワーク）の構築に向けた取組が進んでいる。 ・まちなかにも公園緑地等を中心に、生き物の生息・生育環境となる緑化地や水辺地等が創出されている。
情報をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の情報等、生物多様性に関する情報の基盤づくりが進められている。 ・環境や生き物、地域文化等、人と生き物とのかかわりに関する様々な分野の施設等において、情報や地域の市民活動や事業者等の取組、ノウハウの収集・蓄積、発信等の機能が充実し、ネットワーク化して、情報の拠点として利活用されている。 ・情報の拠点が、人と人、人と生き物をつなぐ拠点となり、地域の市民、事業者等の生物多様性に関する情報交流の場として機能している。 ・大学等と連携した生物多様性に関する新たな知見づくりや研究が進められている。 ・情報の拠点では、立地する周辺の地域に関連性の高い情報が蓄積されているとともに、電子的な情報以外に、地域の既往資料、図書、生き物の標本等の電子化されない資料が適切に保管され、可能な限り利活用されている。

■リーディング・プロジェクト

戦略の推進にあたって特に重要な取組については、施策別取組方針に即したリーディング・プロジェクトにより具体的な事業を短期的（2014（平成26）年度）～2016（平成28）年度）、中長期的（2020（平成32）年度まで）に実施していくこととしています。

施策別取組方針	戦略で目指す将来の姿
(1) 広める	環境配慮意識を広めて生き物をつなげるプロジェクト
(2) 育む	人材を育て人と生き物をつなげるプロジェクト
(3) 守る	生き物のすみかを守って生き物をつなげるプロジェクト
(4) つなぐ	緑と水をつなげたコリドーで生き物をつなげるプロジェクト
(5) 創る	まちなかに拠点を創って生き物をつなげるプロジェクト
(6) 集める	調査や知見等を集めて情報をつなげるプロジェクト
(7) 伝える	地域間、主体間で伝えて情報をつなげるプロジェクト



一般的なエコロジカルネットワークのイメージ
 (出典)パンフレット「人と自然との美しい共生 エコロジカルネットワーク」(国土交通省)

基本方針Ⅰ “人と生き物をつなげる”

生物多様性への認識や環境に配慮したライフスタイルを広め、積極的に活動を実践する人材を育み、市民、事業者等と協働して生物多様性の保全に取り組むことで、を目指すこととしています。

(1) 施策別取組方針「広める」：人と生き物とのかかわり方への理解や環境配慮意識を広める
リーディング・プロジェクト：環境配慮意識を広めて人と生き物をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性への関心を広める →プロジェクト事業① ・生物多様性への配慮意識を広める →プロジェクト事業② ・市民活動等での生物多様性に配慮した活動を広める →プロジェクト事業③

プロジェクト事業① 【地域の魅力を発見する】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や文化等の特性を再発見する機会づくり等、本市の生物多様性について考えるきっかけをつくります。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会等実施状況
<p>【点検結果】</p> <p>生田緑地をはじめ、様々な場所で自然観察会等が実施されており、2014（平成26）年度では、計180回の自然観察会が開催されました</p>	

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
<p>地域の自然を再発見するツアーの実施</p> <p>[環：環境総合研究所] [環：環境調整課]</p>	<p>□ツアー等実施回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河口干潟観察会：年6回開催 ・自然観察会：年4回開催 	<p>□ツアー等実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河口干潟観察会：年6回 ・自然観察会：年3回 ・身近な自然再発見ツアー：年1回
<p>自然観察会や環境調査等の実施により、市民が地域の自然・生物と親しむ機会の創出</p> <p>[環：環境総合研究所] [環：環境対策課] [建緑：多摩川施策推進課] [教：青少年科学館]</p>	<p>□自然観察会等の実施件数（計180回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み多摩川教室：年1回開催 ・水辺の楽校：3校計46回開催 ・河口干潟観察会：年44回開催 ・干潟の生き物観察会：年1回 ・多摩川の生き物観察会：年1回 ・生田緑地観察会：年36回開催 ・自然観察会：年4回開催 ・生きもの探検教室：年8回開催 ・夏休み理科教室：年10回 ・自然ワークショップ：年24回開催 ・初心者のための植物観察講座：年3回開催 ・多摩川の冬鳥観察会：年1回開催 ・水環境体験ツアー：年1回開催 	<p>□継続実施及び新規計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み多摩川教室：年1回開催 ・水辺の楽校：3校計41回開催 ・河口干潟観察会：年44回 ・生田緑地観察会：年36回開催 ・自然観察会：年1回 ・子どものための昆虫学教室：年3回開催 ・子どものための植物学教室：年3回開催 ・夏休み理科教室：年6回開催 ・自然ワークショップ：年13回開催 ・初心者のための植物観察講座：年3回開催 ・多摩川の生きもの観察会：年1回 ・水環境体験ツアー：年1回開催
<p>みなとにふれ合うイベントの実施</p> <p>[港：誘致振興課]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国船見学会開催 ・夏休み川崎港見学会：年3回開催 ・夏休み海洋環境教室 ・みなと祭り開催：参加者約22万人 ・ビーチバレーボール川崎市長杯開催 ・ビーチバレーボール全日本大学選手権大会開催 ・2014仁川アジア競技大会ビーチバレーボール日本代表決定戦開催 ・夏休み水環境体験ツアー開催（環境局・港湾局・上下水道局 共催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国船見学会開催 ・夏休み川崎港見学会：年3回開催 ・夏休み海洋環境教室 ・みなと祭り開催 ・ビーチバレーボール川崎市長杯開催 ・ビーチバレーボール全日本大学選手権大会開催 ・夏休み水環境体験ツアー開催（環境局・港湾局・上下水道局 共催）

プロジェクト事業② 【生物多様性について理解を深める】		
<ul style="list-style-type: none"> ・関連するイベント等を通じて、家庭からの環境配慮意識が高まるような普及啓発に取り組みます。 		点検する項目 <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム等実施状況
【点検結果】 グリーンウェイブへの参加呼びかけや、エコ・フェスタかわさき 2014 での講演等による普及啓発を行いました。		
具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
生物多様性に関する普及啓発の実施 [関係局・区]	<input type="checkbox"/> フォーラム実施等普及啓発状況 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンウェイブ：26 団体参加 ・花と緑の交流会での普及啓発 ・エコ・フェスタかわさきでの講演 	<input type="checkbox"/> フォーラム実施等普及啓発予定 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンウェイブ参加 ・花と緑の交流会での普及啓発
動物の愛護と管理の促進 [健：動物愛護センター]	<input type="checkbox"/> 終生飼養等普及啓発状況 <ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護教室開催 51 回 1541 名 	継続実施
環境イベント・シンポジウム等開催による地球温暖化対策に関する意識啓発 [環：地球環境推進室] [環：環境調整課]	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市地球温暖化防止活動推進センターにおけるテーマ展示等 	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市地球温暖化防止活動推進センターにおけるテーマ展示等

プロジェクト事業③ 【生物多様性に配慮して活動する】		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民等の様々な活動の分野や地域ごとに異なる生物多様性への配慮を促進するため、望まれる具体的な取組を示すガイドラインづくり等を通して活動を支援します。 		点検する項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを活用した講座等の実施状況
【点検結果】 「生物多様性の保全に取り組む方々へのメッセージ～活動ポイント事例集～」を作成しました。		
具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
生物多様性に配慮した活動ガイドラインづくり [建緑：みどりの協働推進課] [環：環境調整課]	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全に取り組む方々へのメッセージ～活動ポイント事例集～の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の関係団体への配布、閲覧
水辺の楽校の活動支援 [建緑：多摩川施策推進課]	市内3校（かわさき、とどろき、だいし）で計 46 回実施、延べ 3,475 人が参加	市内3校（かわさき、とどろき、だいし）で計 52 回実施予定



「生物多様性の保全に取り組む方々へのメッセージ～活動ポイント事例集～」はホームページでダウンロードできます。

[生物多様性の保全に取り組む方々へのメッセージ](#) [検索](#)

(2) 施策別取組方針「育む」：生物多様性の保全に取り組む人材を育む

リーディング・プロジェクト：人材を育て人と生き物をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもたちの環境配慮意識を育む →プロジェクト事業④ ・生物多様性に関する環境教育・環境学習を推進する人材を育む →プロジェクト事業⑤

プロジェクト事業④ 【子どもたちが自然とふれあい学ぶ】	
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもたちが自然とふれあい、地域の生き物への興味・探究心を育む、環境教育・環境学習を推進します。 	点検する項目 <ul style="list-style-type: none"> ・教材を活用したプログラム等実施状況

【点検結果】
冊子「水辺の生きもの」を環境学習等で配布のほか、水辺の楽校の活動（計 46 回開催。述べ 3,475 人が参加）を支援しました。

具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
身近な生き物観察教材の作成・配布 [環：環境総合研究所] [環：環境調整課]	<input type="checkbox"/> 教材の作成状況 ・冊子「水辺の生きもの」を環境学習講座等で配布	継続実施
環境副読本の作成・配付 [環：環境調整課]	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちのくらしと環境 明るい未来に向かって」（小学4～6年生用）13,200部 ・「あしたをつかめ！Yes, We Can」（中学生用）11,700部 	継続実施
水辺の楽校の活動支援 [建緑：多摩川施策推進課]	市内3校（かわさき、とどろき、だいし）で計46回実施、延べ3,475人が参加	市内3校（かわさき、とどろき、だいし）で計52回実施予定

プロジェクト事業⑤ 【生物多様性の保全に取り組む人材を育成する】	
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全の観点を盛り込んだ活動や調査等を実践する人材育成講座等を実施して、積極的に取り組む地域のリーダーを育成します。 	点検する項目 <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に関する講座等実施状況

【点検結果】
2014（平成 26）年度は、地域環境リーダー育成講座を 12 人が、緑化推進リーダー育成講座を 23 人が、里山ボランティア講座を 38 人、環境基本計画年次報告書ベース（緑化推進リーダー及び里山ボランティア講座は平成 22 年度以降からの計上分）で述べ 579 人が修了しました

具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
自然調査に携わる人に向けた講座の実施 （「自然調査員養成講座の実施」であったものから変更） [教：青少年科学館]	<input type="checkbox"/> 講座実施状況 自然環境の調査や研究を担う人材（市民）育成につながる自然観察会や各種教室、講座の実施	<input type="checkbox"/> 継続実施及び新規計画 ・初心者のための植物観察講座 ・子どものための昆虫学教室 ・子どものための植物学教室 ・その他各種観察会、講座
地域環境リーダー育成講座の実施 [環：環境調整課]	年 10 回の講座を実施、受講者 12 人がすべて修了生となり、新たな地域環境リーダーとなった。 修了生総計：292 人	年 10 回講座を実施
地域の緑化を自主的に推進する人材の育成 [建緑：みどりの協働推進課]	<input type="checkbox"/> 緑化推進リーダー育成講座修了者数 ・花と緑のまちづくり講座 修了者：23 名	継続実施
里山ボランティア育成講座の実施 [建緑：みどりの協働推進課]	<input type="checkbox"/> 講座修了者数：38 名 （受講修了者延べ数：480 名）	継続実施

基本方針II “生き物をつなげる”

(3) 施策別取組方針「守る」：生き物の生息・生育の拠点となる緑や水を守る

リーディング・プロジェクト：生き物のすみかを守って生き物をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的

- ・生き物の生息・生育の拠点を守る →プロジェクト事業⑥
- ・生き物にとって大切な水環境を守る →プロジェクト事業⑦

プロジェクト事業⑥ 【拠点となる樹林や農地を保全する】

<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の生息・生育環境となる樹林地を保全する取組を推進します。 ・農業振興地域や市街化区域の農地の保全を推進し、生き物の生息・生育環境を守ります。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保全管理計画策定地区数等、緑地、農地等を守る取組の実施状況
---	--

【点検結果】

2014（平成26）年度までに、多摩美特別緑地保全地区など26地区の保全管理計画を策定しました。施策による緑地の保全面積は対前年度で3ha増えて計232ha、施策による農地の保全面積は対前年度で4ha減少して384haとなっています。

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
特別緑地保全地区等で植生に配慮した保全管理計画の策定 〔建緑：みどりの協働推進課〕	<input type="checkbox"/> 計画作成地区名 <ul style="list-style-type: none"> ・向原の里特別緑地保全地区 ・小沢城址特別緑地保全地区 ・おっ越し山緑の保全地域 ・久地特別緑地保全地区 ・多摩特別緑地保全地区 ・菅馬場谷特別緑地保全地区 ・黒川広町緑の保全地域 ・南野川特別緑地保全地区 ・岡上和光山緑の保全地域 ・神庭特別緑地保全地区 ・岡上梨子ノ木特別緑地保全地区 ・久末特別緑地保全地区 ・黒川よこみね特別緑地保全地区 ・菅生ヶ丘特別緑地保全地区 ・王禅寺源左衛門谷特別緑地保全地区 ・生田榎戸特別緑地保全地区 ・柿生の里特別緑地保全地区 ・菅小谷緑の保全地域 ・片平緑の保全地域 ・栗木山玉山特別緑地保全地区 ・井田平台特別緑地保全地区 ・岡上丸山特別緑地保全地区 ・久末東特別緑地保全地区 ・王禅寺東特別緑地保全地区 ・生田寒谷特別緑地保全地区（新規） ・多摩美特別緑地保全地区（新規） 	<input type="checkbox"/> 策定予定 <ul style="list-style-type: none"> ・早野梅ヶ谷特別緑地保全地区
特別緑地保全地区、緑の保全地域の指定等による良好な緑地保全の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕 〔建緑：みどりの保全整備課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・特別緑地保全地区指定数、面積 74か所、124.7ha ・緑の保全地域指定数、面積 32か所、30.2ha ・保全緑地取得面積 96.0ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別緑地保全地区指定予定：5か所 ・特別緑地保全地区拡大予定：2か所 ・緑の保全地域指定予定：2か所 ・保全緑地取得予定：3ha
環境影響評価の手续における緑及び生態系、並びに地下水の保全・回復への取組の要請 〔環：環境評価室〕	川崎市環境影響評価等技術指針に基づく指導・助言	継続実施

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
都市農地の多面的な機能の活用 〔経：農地課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズムの実践及び課題調査 ・明治大学農学部との連携 ・農産物直売所内情報発信施設における共同事業の実施 ・早野里地里山活性化推進計画（素案）の作成、協働事業の実施 ・早野地区周辺ハーブ活用推進事業の実施 ・遊休農地対策事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズムの実践及び課題調査 ・明治大学農学部との連携 ・農産物直売所内情報発信施設における共同事業の実施 ・早野里地里山づくり推進計画の策定、協働事業の実施 ・早野地区周辺ハーブ等活用推進事業の実施 ・遊休農地対策事業の実施
「かわさき里地・里山ミュージアム構想」の推進 〔建緑：みどりの協働推進課〕	黒川海道特別緑地保全地区における将来的な整備イメージ作りに向けたゾーニングを地元農業者との協働により作成	ゾーニングの具体化と維持管理手法の確立
自然的環境を有する土地における生態系の保全に資する動植物の生息地の保全指針の策定 〔建緑：みどりの協働推進課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・里地・里山ミュージアム構想の実現に向けて黒川・岡上・早野の回遊性を検討 ・里地・里山ミュージアム構想の実現に向けて黒川地区をリーディング地区として、黒川街道特別緑地保全地区で園路整備を行い、地域団体・農業者と基本的な保全管理の検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・里地・里山ミュージアム構想の実現に向けて黒川地区をリーディング地区として、地域団体・農業者と黒川街道特別緑地保全地区での活用を考慮した保全管理手法を検討 ・かわさき里地・里山トレイルマップを作成

プロジェクト事業⑦ 【良好な水環境を保全する】

<ul style="list-style-type: none"> ・水量、水質、水生生物、水辺地の4つの要素がバランスよく構成されている状態を目指して良好な水環境の保全に取り組みます。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗状況
<p>【点検結果】</p> <p>平成26年度は水環境保全計画に係る推進委員会を3回開催し、総合的な施策の推進を図りました。</p>	

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
水環境の要素を総合的に捉えた施策の推進		
水環境保全計画に基づく、計画的、総合的な施策の推進 〔環：環境対策課〕	<input type="checkbox"/> 取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・水環境保全計画に基づく河川、地下水、海域等の水環境を一体とし、総合的に水環境の保全を推進 	継続実施
水環境保全計画に基づく水質保全対策の推進 〔環：環境対策課〕	<input type="checkbox"/> 「水環境保全計画」の推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質、生物調査 	・河川の水質、生物調査等の実施
水環境保全計画に係る推進委員会における総合的な施策の推進 〔環：環境対策課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会：3回開催 ・各分科会の開催 	継続実施
水環境保全計画に基づく、関係機関との連携による総合的な地下水保全対策の実施 〔環：環境対策課〕	<input type="checkbox"/> 計画に基づく対策の実施状況 概ね計画通り実施	雨水浸透施設の普及促進
水環境保全計画に基づく総合的かつ計画的な地盤環境（地下水を含む）の保全 〔環：環境対策課〕	「水環境保全計画」に基づき、推進委員会及び分科会を開催し、推進委員相互の連携と協力により地盤環境（地下水を含む）の保全を推進	継続実施

(4) 施策別取組方針「つなぐ」：生き物の生息・生育環境をつなぐ

リーディング・プロジェクト：緑と水をつなげたコリドーで生き物をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的
<ul style="list-style-type: none"> ・生き物に配慮したコリドーづくりで生き物の生息・生育の拠点をつなぐ →プロジェクト事業⑧ ・広域的な視点で緑と水をつなぐ →プロジェクト事業⑨

プロジェクト事業⑧ 【河川を活用して拠点をつなげる】	
<ul style="list-style-type: none"> ・河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全創出するための河道の形成を図ります。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多自然整備の実施延長等状況
<p>【点検結果】</p> <p>河川改修区間延長（多自然川づくり）は、対前年度で平瀬川支川で3m増加し、累計738mとなっています。</p>	

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
多自然川づくりの推進 （河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するための河川管理） 〔建緑：河川課〕	<input type="checkbox"/> 河川改修区間延長（多自然川づくり） ・平瀬川支川：15m（累計754m）	<input type="checkbox"/> 計画 ・平瀬川支川：0m（河床施工延長37m）
良好な自然環境を残す多自然の河川の維持・再生 〔建緑：多摩川施策推進課〕 〔建緑：河川課〕	多摩川に関する推進計画「多摩川プラン」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ清掃 ・生物が棲みやすい環境創造のための刈り残しの実施 	多摩川に関する推進計画「新多摩川プラン」の改定
河川の整備における漁礁ブロック、魚道の設置等、生物の生息環境への配慮の実施 〔建緑：河川課〕	<input type="checkbox"/> 設置件数（累計） <ul style="list-style-type: none"> ・魚道：8か所 ・漁礁ブロック：1か所 	なし

プロジェクト事業⑨ 【広域的に生き物の生息・生育環境をつなげる】	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者、近隣自治体等との協働により、広域的な環境保全に取り組みます。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携事業の実施状況
<p>【点検結果】</p> <p>関東地方水質汚濁対策連絡協議会や東京湾岸自治体との連携による広域的な公共用水域対策を推進しました。</p>	

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
<p>海域及び河川流域の関係自治体、関係機関との連携の強化、及び広域的な連携の取組</p>		
河川流域自治体との連携による水質汚濁防止対策の推進 〔環：環境対策課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方水質汚濁対策連絡協議会水質汚濁の究明、防止及び軽減対策の樹立 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方水質汚濁対策連絡協議会
東京湾岸自治体による東京湾の水質保全対策の推進 〔環：環境対策課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・国への要請 ・東京湾大感謝祭に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・国への要請 ・東京湾大感謝祭に参加
河川流域の関係自治体、関係機関との連携の強化 〔環：環境対策課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方水質汚濁対策連絡協議会多摩川・鶴見川・相模川部会水質事故対策訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方水質汚濁対策連絡協議会多摩川・鶴見川・相模川部会水質事故対策訓練

(5) 施策別取組方針「創る」：まちなかに生き物の生息・生育の拠点を創る

リーディング・プロジェクト：まちなかに拠点を創って生き物をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を中心に生き物の生息・生育環境を創る →プロジェクト事業⑩ ・更なる緑化推進により生き物の生息・生育環境を創る →プロジェクト事業⑪

プロジェクト事業⑩ 【生き物に配慮した公園づくり】	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、とりわけ公園等において樹林地、草地の確保や、花や実のなる樹木の植栽・管理等、生き物に配慮した整備等を推進します。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の生息・生育地整備箇所数等状況
<p>【点検結果】</p> <p>開発行為等による提供公園として、7 か所 0.33ha が増えたほか、小田公園でリフレッシュパーク事業を実施しています。</p>	

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
生き物に配慮した整備等マニュアルづくり [建緑：みどりの保全整備課] [環：環境調整課]	<input type="checkbox"/> 作成状況 ・生物多様性の保全に取り組む方々へのメッセージ～活動ポイント事例集～を活用	
街区公園、近隣公園等の身近な公園の整備 [建緑：みどりの保全整備課] [建緑：みどりの協働推進課]	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園等の整備拡充 開発行為等による提供公園 7 か所 0.33ha ・リフレッシュパーク事業の推進（小田公園） 	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園等の整備拡充 ・リフレッシュパーク事業の推進（小田公園）

プロジェクト事業⑪ 【生き物に配慮した緑化地づくり】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生態系に配慮した植栽や、民有地等における屋上、壁面緑化等を活用した建築物周辺の更なる緑化等により、生き物の生息・生育に配慮した緑化を推進します。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創出された緑化地面積や緑化件数
<p>【点検結果】</p> <p>市と事業所等との緑化協定の締結数は 66 件で緑地面積は 154ha（達成率 100%）となっているほか、川崎市緑化指針に基づく民間の開発事業に対する指導・助言を行いました。</p>	

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
建築物等における生き物に配慮した緑化の推進 [建緑：みどりの協働推進課]	<input type="checkbox"/> 計画作成状況 ・自然的環境の保全への配慮について助言・指導	<input type="checkbox"/> 計画作成予定 ・助言・指導を継続 ・自然的環境保全配慮書の様式、川崎市緑化指針の一部改正
建築物環境配慮制度の推進 [ま：建築指導課]	届出件数：96 件	継続実施
開発事業に関する緑化及び緑の管理等についての緑化指針に基づく指導・助言 [建緑：みどりの協働推進課]	指導件数：166 件	継続実施
公共事業の実施において、対象地域内での生物生息・生育環境保全、再生、創出への配慮の推進 [建緑：みどりの協働推進課]	川崎市緑化指針に基づく指導・助言	継続実施
民間による開発事業に対する生息地の保全・再生に向けた指導の実施 [建緑：みどりの協働推進課]	川崎市緑化指針に基づく指導・助言	継続実施

具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
市と事業所等との緑化協定の締結による事業所における緑化の推進 [建緑：みどりの協働推進課]	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結数：66 件 ・緑地面積：154ha：達成率 100% 	継続実施

基本方針Ⅲ “情報をつなげる”

(6) 施策別取組方針「集める」：生物多様性に関する様々な情報を集める

リーディング・プロジェクト：調査や知見等を集めて情報をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的

- ・多様な主体と連携して生物多様性に関する情報を集める →プロジェクト事業⑫
- ・生物多様性に関する知見を集める →プロジェクト事業⑬

プロジェクト事業⑫ 【市域の生き物について調べる】

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業で実施されている生き物情報を収集、整理するとともに、地域を絞り込んだ調査や市民団体等と連携した調査等により、市域の生き物に関する情報をとりまとめます。 	<p>点検する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の動植物等確認種数等
---	---

【点検結果】

植物：1,907種、菌類：576種、鳥類：198種、哺乳類：18種、両生類・爬虫類：22種、トンボ：55種類、チョウ：71種類、魚類：50種、ほか水生生物

具体的施策名	2014（平成26）年度実績	2015（平成27）年度計画等
<p>「自然環境調査」等による現存植生や生物生息調査の実施</p> <p>[環：環境対策課] [環：環境総合研究所] [教：青少年科学館]</p>	<p>□調査実施地区数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息地調査の実施 ・親水施設調査3地点 ・「第8次自然環境調査（2年次）」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・親水施設調査9地点 ・市域の自然を調査し、資料収集整理し、まとめる。 ・「第8次自然環境調査（3年次）」の実施及び報告書の刊行
<p>市内河川や河口干潟等における水辺生物の調査の実施</p> <p>[環：環境総合研究所] [環：環境対策課]</p>	<p>□調査実施地区数：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物調査4地点（環境対策課） ・河川生物調査4地点（環境総合研究所） ・親水施設水質調査9地点（環境総合研究所） ・親水施設生物調査3地点（環境総合研究所） ・東扇島人工海浜生物調査3地点（環境総合研究所） ・多摩川河口干潟生物調査：前期4地点各7回・後期6地点各1回（環境総合研究所） 	<p>□調査実施地区数：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物調査4地点（環境対策課分） ・河川生物調査5地点（環境総合研究所） ・親水施設水質調査9地点（環境総合研究所） ・親水施設生物調査9地点（環境総合研究所） ・東扇島人工海浜生物調査3地点（環境総合研究所） ・多摩川河口干潟生物調査6地点（環境総合研究所）
<p>川崎港生物相調査</p> <p>[環：環境対策課]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎港親水施設生物調査2地点 ・「川崎港の公園周辺の生きもの」の冊子を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎港海域生物調査4地点
<p>市内の希少な動植物等の生育・生息状況調査の実施</p> <p>[環：環境総合研究所]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二ヶ領本川南橋・平瀬川平瀬橋（人道橋）で県内絶滅危惧種の二ゴイを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・希少生物調査14地点（河川生物調査及び親水施設生物調査と併せて実施）
<p>川崎生き物マップの運用</p> <p>[環：環境調整課]</p>	<p>□寄せられた情報数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,028件 	<p>継続実施</p>

■市内の動植物等確認種数

市域には次のような動植物等が生息しています。

- ・植物、菌類（出典：川崎市自然環境調査報告等）

種類	名称等
植物	<p>全市：1,907種</p> <p>「コナラ、クヌギ」の二次林を主体にシカ等の自然植生残存、シオガ、ウギ等の塩沼植生等</p>
菌類	<p>全市：576種</p> <p>タマゴタケ、エノキタケ、アラゲキクラゲ等</p>

(7) 施策別取組方針「伝える」：地域間、主体間で伝えて情報をつなげるプロジェクト

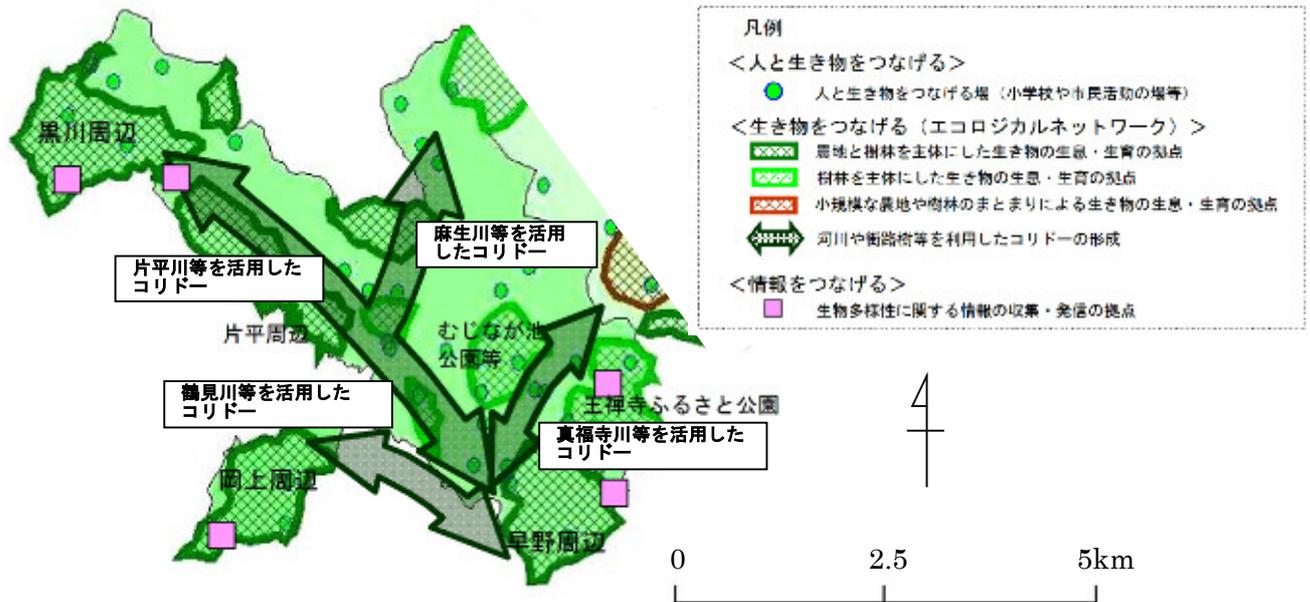
リーディング・プロジェクト：地域間、主体間で伝えて情報をつなげるプロジェクト

プロジェクトの目的		
<ul style="list-style-type: none"> 川崎市の生物多様性に関する情報をわかりやすく伝える →プロジェクト事業⑭ 活動の情報等について主体を越えて伝える →プロジェクト事業⑮ 		
プロジェクト事業⑭ 【生き物情報を“見える化”する】		
<ul style="list-style-type: none"> 市民等から身近な生き物に関する情報を集め、電子地図等を活用して市域の四季折々の生き物の情報をわかりやすく伝えていきます。 	点検する項目	<ul style="list-style-type: none"> 電子地図等に掲載された生き物の情報数
【点検結果】		
市民投稿型のかわさき生き物マップに寄せられた情報数は 2,028 件でした		
具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
川崎生き物マップの運用 [環：環境調整課]	<input type="checkbox"/> 寄せられた情報数 <ul style="list-style-type: none"> 2,028 件 	継続実施
水環境保全システムの運用 [環：環境対策課]	<input type="checkbox"/> 水環境情報の発信状況 <ul style="list-style-type: none"> 水辺地マップの運用 	継続実施

プロジェクト事業⑮ 【情報を利用してネットワークを構築する】		
<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性に関する様々な施設間での情報共有の推進や、市民、事業者等、主体間での情報交流等を図ります。 	点検する項目	<ul style="list-style-type: none"> 交流の機会等の実施状況
【点検結果】		
庁内で組織する生物多様性推進検討会議等を通じて生物多様性に関する情報交換を行いました。		
具体的施策名	2014（平成 26）年度実績	2015（平成 27）年度計画等
生物多様性に関する施設等との情報交流の機会づくり [教：青少年科学館] [建緑：夢見ヶ崎動物公園] [建緑：多摩川施策推進課] [環：環境調整課] [環：地球環境推進室]	<input type="checkbox"/> 交流の機会の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性推進検討会議：1 回 環境教育・学習推進会議：3 回 	継続実施
多摩川流域の市民・企業・行政の情報交換や意見交換の場の創出 [建緑：企画課] [建緑：多摩川施策推進課]	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川流域セミナーの開催(年 2 回) 	継続実施

丘陵地の農地と樹林の生態系エリア

取組方針「農地と樹林地の生き物の生息・生育の拠点を守る」

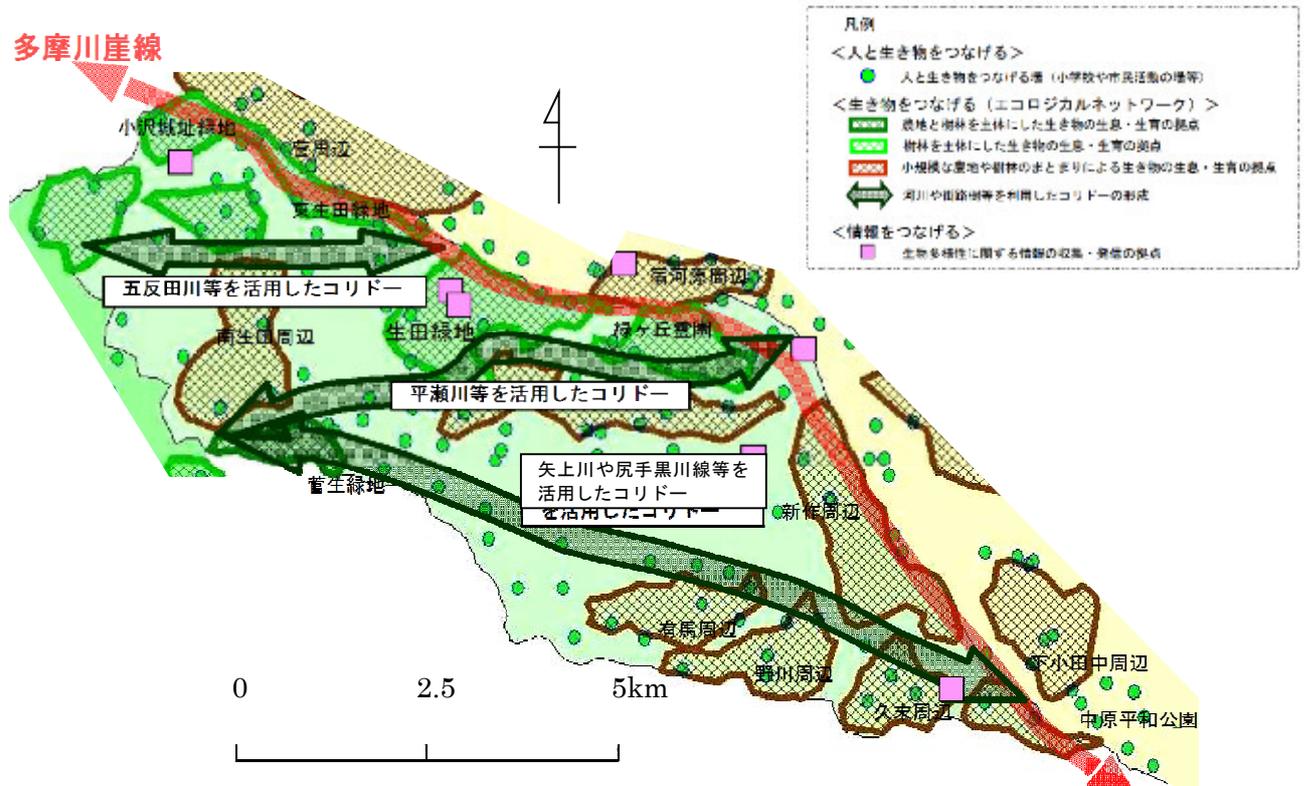


エリアの特徴 市域北西部丘陵地に位置し、農業振興地域を含む黒川、岡上、早野地区をはじめ、生き物の生息・生育の拠点となる農地や樹林がまとまって分布する地域が多く含まれ、河川等がそれらをつないでいる。

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興施策の推進による生き物の生息・生育環境の保全、緑地保全施策の推進 ・ 生き物の生息環境としての質に着目した緑地保全活動等の促進 ・ 地域の環境を活用した自然とふれあう場づくり
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性を広める場づくり 「かわさき里地・里山ミュージアム構想」の推進【建設緑政局】 ● 人材を育む取組 里山ボランティア、緑化推進リーダー養成【建設緑政局】、地域環境リーダー育成【環境局】 ● 樹林地、農地、水辺地等の保全の取組 様々な主体の参画による新たな保全緑地管理の検討【建設緑政局】 生き物に配慮した公園・緑化地づくり【建設緑政局】、都市農地の多面的活用【経済労働局】 農業者が開設する体験型農園、ファーマーズクラブの開催等【経済労働局】 ● コリドーづくりに向けた取組 多自然川づくりの推進【建設緑政局】 ● 様々な情報収集の取組 生き物調査【環境局】 ● 情報の交流・発信の取組 生き物マップ等のGISを活用した情報発信、環境教育施設での普及・啓発等【環境局】 地域と連携した里山フォーラムでの連携等【麻生区】
特に重要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業振興地域における畑等を活用した農業研修講座の実施 ● 緑地保全施策の推進と保全緑地管理計画づくりの推進 特別緑地保全地区等で植生に配慮した保全管理計画の策定【建設緑政局】 特別緑地保全地区、緑の保全地域の指定等による良好な緑地保全の推進等【建設緑政局】 ● 自然環境を活かした情報発信の場づくり 施設間情報交流【環境局】、グリーン・ツーリズム【経済労働局】など

丘陵地の樹林の分散する生態系エリア

取組方針「点在する緑と小河川を活かして生き物の生息・生育環境をつなげる」

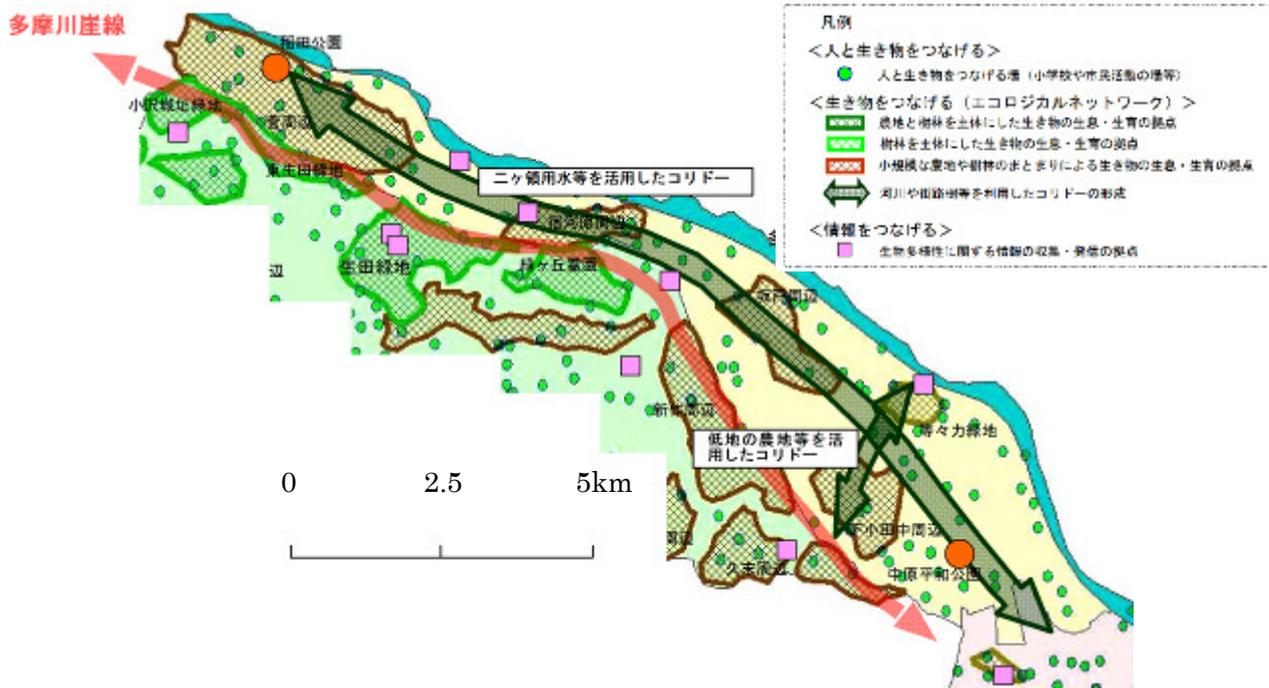


エリアの特徴 市域北西部丘陵地に位置し、生田緑地等生き物の生息・生育の拠点となる樹林がまとまって分布する地域が含まれ、河川や多摩川崖線の緑等がそれらをつないでいる。

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保全された緑地等における、生物多様性の観点での保全活動の推進 ・多摩川崖線上の連続した緑地の保全と併せ、小規模で点在している緑地の保全 ・地域の環境、施設等を活かした自然とふれあう場づくり
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性を広める場づくり 自然観察会の実施【教育委員会事務局】 ●人材を育む取組 緑化推進リーダー養成【建設緑政局】、地域環境リーダー育成【環境局】 ●樹林地、農地、水辺地等の保全の取組 様々な主体の参画による新たな保全緑地管理の検討【建設緑政局】 生き物に配慮した公園・緑化地づくり【建設緑政局】、都市農地の多面的活用【経済労働局】 ●コリドーづくりに向けた取組 多自然川づくりの推進【建設緑政局】 ●様々な情報収集の取組 生き物調査【環境局】 ●情報の交流・発信の取組 生き物マップ等のGISを活用した情報発信【環境局】
特に重要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生田緑地ビジョンの推進【建設緑政局】 ●多摩川崖線、孤立した樹林地を保全する緑地保全施策の推進と保全緑地管理計画づくりの推進 特別緑地保全地区等で植生に配慮した保管理計画の策定【建設緑政局】 特別緑地保全地区、緑の保全地域の指定等による良好な緑地保全の推進等【建設緑政局】 ●かわさき宙と緑の科学館における自然とふれあう場づくり【教育委員会事務局】

低地の農地の分散する生態系エリア

取組方針「点在する農地と二ヶ領用水を活かして、生き物の生息・生育環境をつなげる」

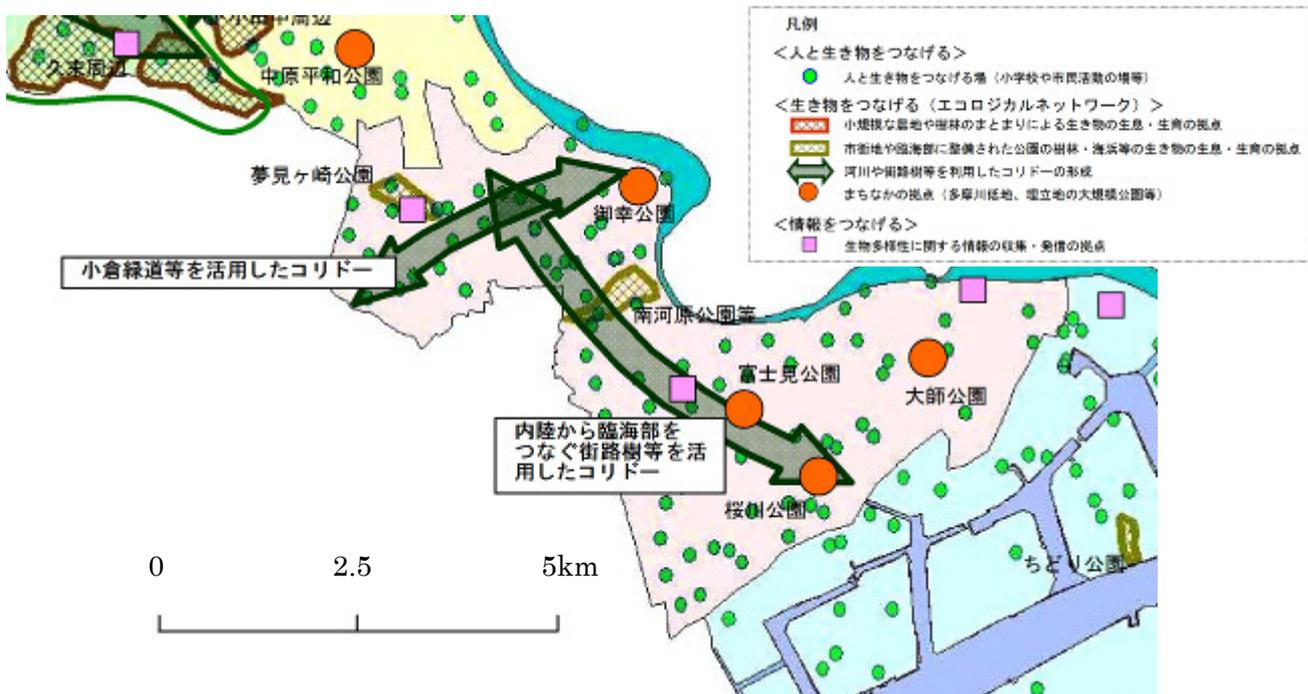


エリアの特徴 多摩川に沿った沖積低地に位置し、生き物の生息・生育の拠点となる農地や公園等が分散して点在しており、二ヶ領用水や河川、街路樹等がそれらをつないでいる。

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・二ヶ領用水や河川、街路樹等の良好な水辺環境や緑の連続性の維持 ・市街地に点在している農地の保全 ・地域の環境、施設等を活かした自然とふれあう場づくり
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性を広める場づくり 自然観察会の実施【建設緑政局】 ●人材を育む取組 緑化推進リーダー養成【建設緑政局】、地域環境リーダー育成【環境局】 ●コリドーづくりに向けた取組 多自然川づくりの推進【建設緑政局】 ●まちなかの緑を創出する取組 街区公園等の整備拡充、生き物に配慮した公園・緑化地づくり【建設緑政局】 ●様々な情報収集の取組 生き物調査【環境局】 ●情報の交流・発信の取組 生き物マップ等のGISを活用した情報発信【環境局】
特に重要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●二ヶ領用水と渋川との分岐点周辺における多自然川づくりと憩いの場としての整備【建設緑政局】 ●生産緑地地区指定の拡大等市街化区域で分散する農地の保全・活用の推進【経済労働局】 ●緑化センター等を活用した自然とふれあう場づくり【建設緑政局】 緑のボランティアの活動及び情報収集の市民活動拠点としての活用

低地の市街地の生態系エリア

取組方針「まちなかの緑を活かして、生き物の 生息・生育の拠点を創る」

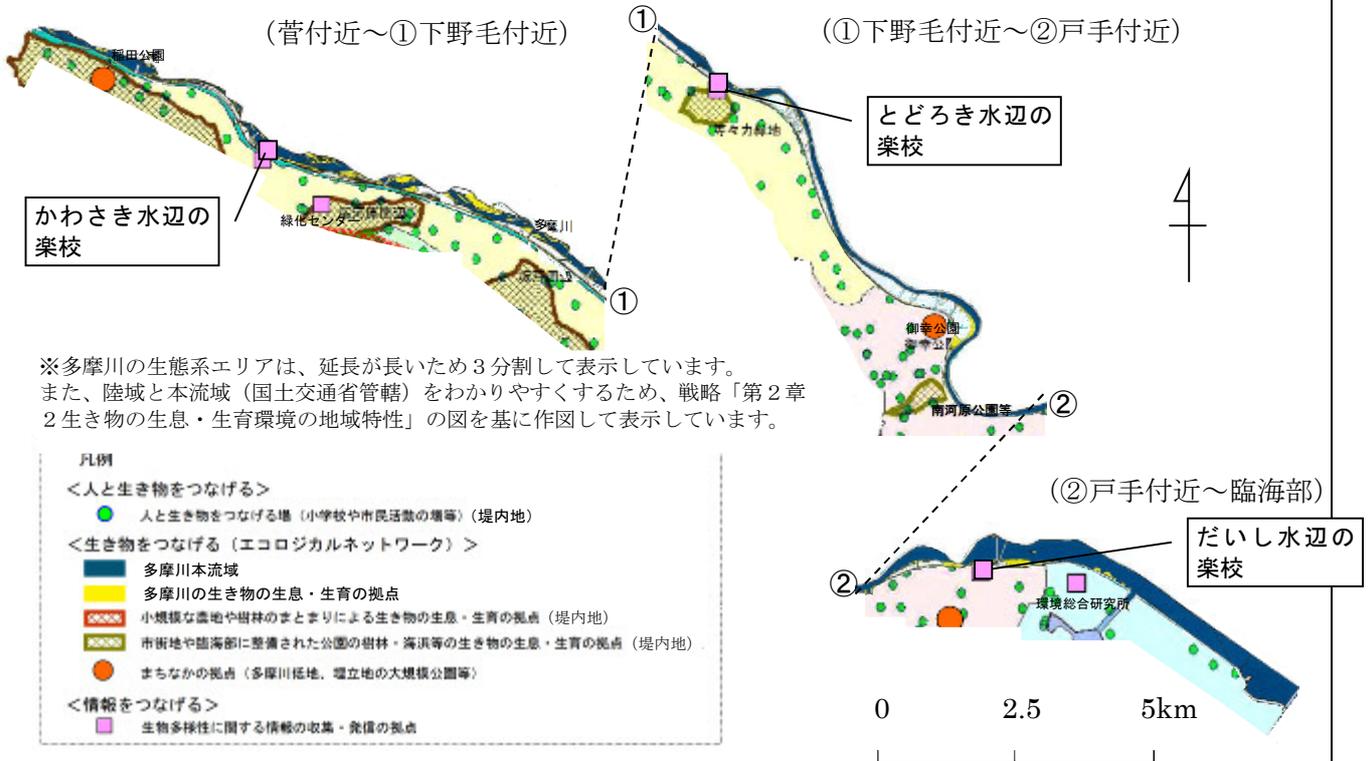


エリアの特徴 多摩川に沿った沖積低地に位置し、自然的環境の分布は少なく、夢見ヶ崎公園等の公園等が生き物の生息・生育環境となっており、街路樹等がそれをつないでいる。

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの緑の創出 ・公園緑地等を中心とした生き物の生息・生育環境となる樹林や水辺地の維持・保全 ・地域の環境、施設等を活かした自然とふれあう場づくり
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性を広める場づくり 自然観察会の実施【建設緑政局】 ●人材を育む取組 緑化推進リーダー養成【建設緑政局】、地域環境リーダー育成【環境局】 ●コリドーづくりに向けた取組 街路樹等の管理【建設緑政局・各区役所】 ●まちなかの緑を創出する取組 街区公園等の整備拡充、生き物に配慮した公園・緑化地づくり【建設緑政局】 ●様々な情報収集の取組 生き物調査【環境局】 ●情報の交流・発信の取組 生き物マップ等のGISを活用した情報発信【環境局】
特に重要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●緑化推進重点地区等の重点的に緑化を図るべき地区における緑化推進【建設緑政局】 川崎駅周辺及び新川崎・鹿島田駅周辺地区における公共施設・民間施設の緑化推進 ●公園緑地の整備における樹林地、水辺地等の創出や適正な維持管理の実施【建設緑政局、各区役所】 ●夢見ヶ崎公園等を活用した身近な自然や生き物とふれあう場づくりの実施【建設緑政局】 動物園まつり、飼育の日など

多摩川の生態系エリア

取組方針「多摩川の生き物の生息・生育環境をつなげる」

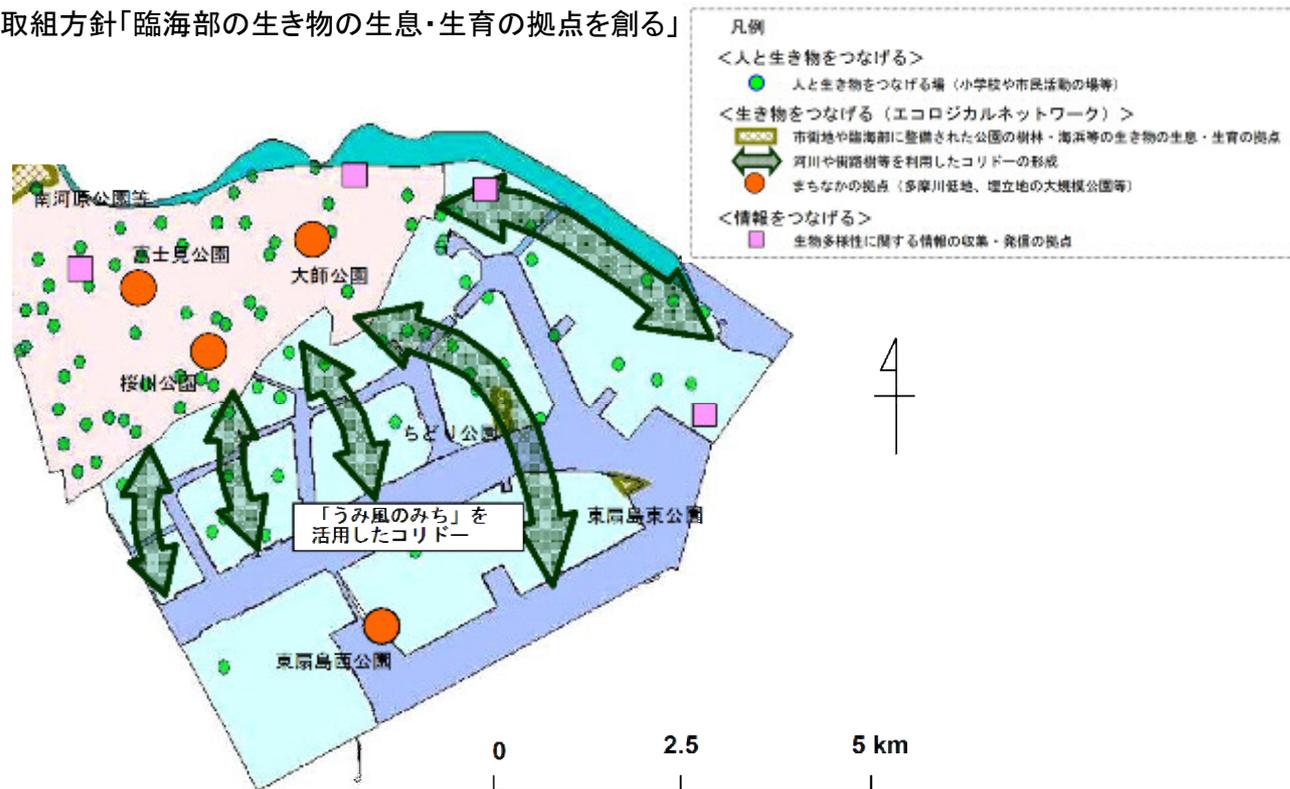


エリアの特徴 多摩川の河川敷（堤外地）を主として、河川区域の全体が生き物の生息・生育環境となっており、上下流や隣接する堤内地等をつないでいる。

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の河岸部の自然環境の保全 ・河川敷を中心とした生き物の生息・生育環境となる樹林や草地の維持・保全 ・地域の環境、施設等を活かした自然とふれあう場づくり
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性を広める場づくり 自然観察会の実施【建設緑政局】 ●人材を育む取組 緑化推進リーダー養成【建設緑政局】、地域環境リーダー育成【環境局】 ●コリドーづくりに向けた取組 多自然川づくりの推進【国土交通省】 ●様々な情報収集の取組 生き物調査【環境局】 ●情報の交流・発信の取組 生き物マップ、水辺地マップ等のGISを活用した情報発信【環境局】
特に重要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●人材の育成及び市民に活用される学習拠点の充実【建設緑政局】 かわさき、とどろき、だいし水辺の楽校における川で楽しみながらの教育の実践 ●小動物の棲みかになる草地の保全や鳥類が生息しやすい環境の創出【建設緑政局】 ●源流部から河口部までの流域間連携による様々な情報の交流・発信【建設緑政局、各区役所、環境局】

臨海部の生態系エリア

取組方針「臨海部の生き物の生息・生育の拠点を創る」



エリアの特徴 自然的環境の分布は少ないが、海域に面しており、東扇島東公園等の臨海公園や事業所の緑化地等が存在している。

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの緑の創出 ・事業所の緑化地等の維持・保全の誘導 ・地域の環境、施設等を活かした自然とふれあう場づくり
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性を広める場づくり 水生生物や野鳥などの自然観察会【環境局】、みなとにふれ合うイベントの実施【港湾局】 ●人材を育む取組 緑化推進リーダー養成、水辺の楽校支援【建設緑政局】、地域環境リーダー養成【環境局】 ●コリドーづくりに向けた取組 うみ風のみちを活用した取組として、事業所緑化、街路樹等による景観形成等【建設緑政局、まちづくり局、港湾局】 ●まちなかの緑を創出する取組 身近な公園の整備、事業所緑化の促進【建設緑政局】 ●様々な情報収集の取組 生き物調査【環境局】 ●情報の交流・発信の取組 生き物マップ、水辺地マップ等のGISを活用した情報発信【環境局】
特に重要な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●池上新町周辺の緑のネットワーク化の推進【建設緑政局】 （「かわさき臨海のもりづくり」緑化推進計画に基づく取組の推進など） ●事業所による沿道緑化の促進の創出【建設緑政局】 ●港における東扇島東公園等の臨海公園の維持、整備等の推進【港湾局】

生物多様性かわさき戦略では、評価方法について次のとおりとしています。

生物多様性の指標について

生物多様性は、自然環境、生き物、人とのかかわり等が複雑に絡み合って成立していることから、様々な角度から点検する必要があります。

現状では、生物多様性の状態を考察するには、情報が十分といえる状況にはないことから、戦略では、前述のような施策の進行管理による点検を第一としながらも、生物多様性の取組の状況を測るために、国が現在策定中の「都市の生物多様性指標」等を参考に、今後、調査情報の蓄積等を図りながら、川崎市における生物多様性指標を設定して点検していきます。

施策の進行管理と併せた、生物多様性の指標による評価を通じて、川崎市における生物多様性の状態の把握に努めるとともに、適宜市民、事業者等の意見等を得ながら、戦略の改定の際等の基礎情報としていきます。

2015（平成 27）年 2 月現在、市内の生き物調査の結果を参考としながら、指標種の選定に向けた検討を進めているところであり、また、設定した指標種による確認方法についてはそれ以降の検討となる見込みです。

したがって、施策の評価につきましては、環境基本計画年次報告の生物多様性の保全に関する指標評価と方向評価を用いることとします。

施策の方向 III-3 生物多様性の保全

指標	方目標・現状・指標がめざす向
自然観察会等実施状況	【基準年度】生田緑地観察会：年 36 回開催 ほか（2009 年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
市内の動植物等確認種数	【基準年度】植物：1,451 種、鳥類：166 種以上 ほか（2009 年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い
保安全管理計画作成地区数	【基準年度】17 地区（2009 年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：自然観察会等実施状況 ・生田緑地観察会ほか：180 回開催 ほか（対前年度：20 回増加、対基準年度：多い）	5*	5
■指標：市内の動植物等確認種数 ・植物：1,907 種、鳥類：198 種、哺乳類：18 種、爬虫類：14 種、菌類：576 種（対前年度、増減なし、対基準年度：多い）	4.5*	
■指標：保安全管理計画作成地区数 ・多摩美特別緑地保全地区など 26 地区の保安全管理計画を策定（対前年度：2 地区増加、対基準年度：多い）	5	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]